

2015年4月1日 お！宮町地域情報編集局 発行

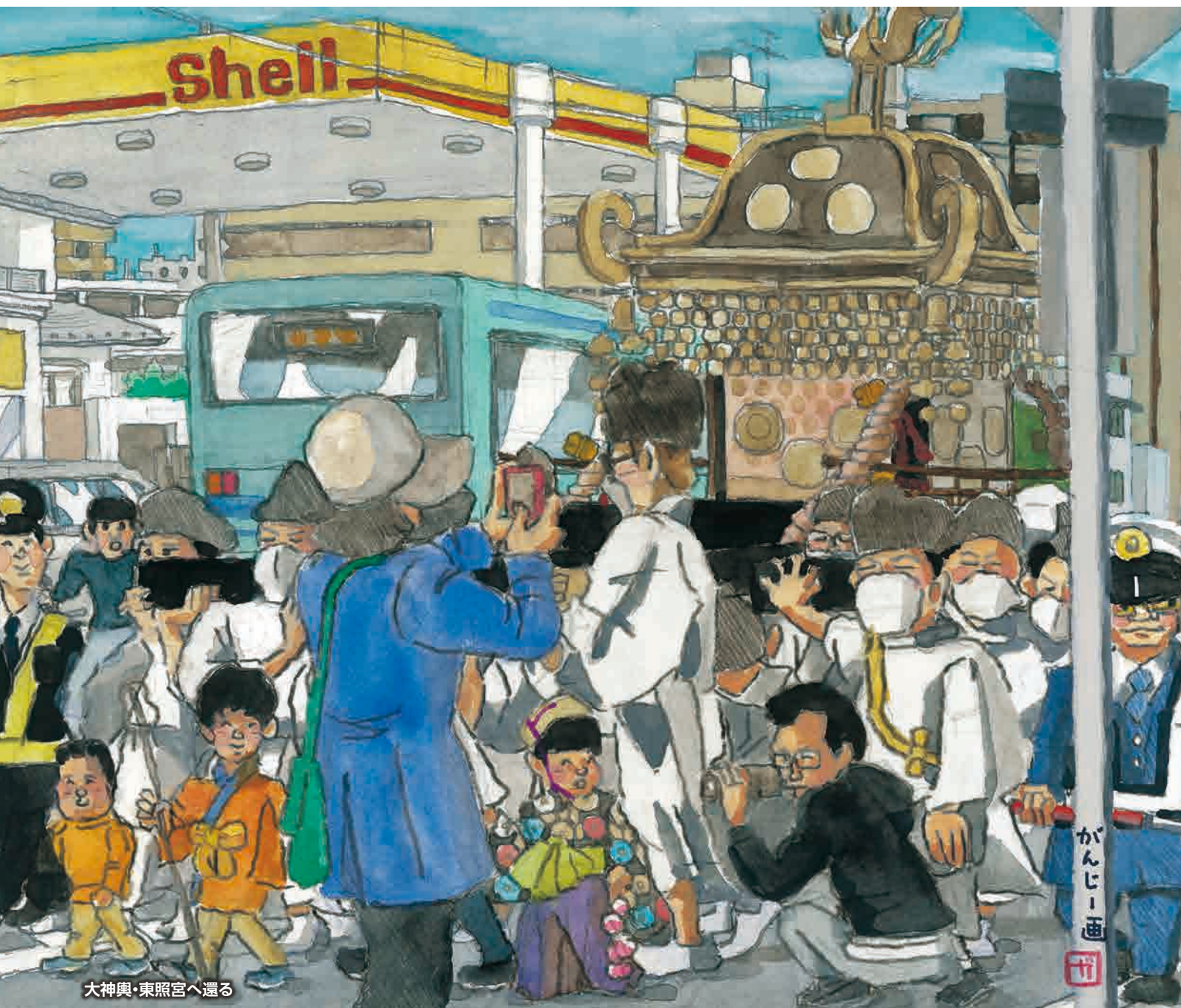


038PRESS

vol. 16 春号

宮町のイベントキャラクター
みやっち

お み や プ レ ス



大神輿・東照宮へ還る

今季の特集
P2~P4

ようこそ!お宮町へ

P8…… 学校情報／出版に寄せて／編集後記



編集

お！宮町地域情報編集局
〒980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目4番48号
(東六コミュニティ・センター内)
TEL 090-7932-5021 (千葉)

ホームページ 038 プレスへようこそ 検索

[ブログ](#)
[おみやpressのブログ](#)
[検索](#)

宮町商店街のホームページ お宮町・混む <http://omiyamachi.com/>

ようこそ！お宮町へ

新たなスタートに胸が踊るこの季節。
地域みなさんが毎年楽しみにしている、
音楽にあふれた魅力的な会が開催されます。
その名も「東六小の桜と音楽を愛でる会」。

東六番丁小学校のエドヒガンザクラを囲み、
音楽をより身近に感じることができる、
住民参加型の地域イベントです。

この「お宮町」に新たにお住いを持たれたみなさん、
一緒にしませんか？

「桜と音楽を愛でる会」の成り立ちに合わせて、
「お宮町」の魅力をご紹介します。



樹齢四百年余の「桜」と「音楽」の祭典

仙台市立東六番丁小学校の校章には桜の意匠が描かれています。そのモデルは、校庭にどっしりと根をおろしているエドヒガンザクラの大木。県下屈指の名桜とも称される、同校のシンボルです。

土井晩翠先生が作詞された東六小校歌にも謳われたこの桜とともに、地域みなさんが奏でる音楽を堪能できるひととき。

「桜と音楽を愛でる会」は、4月18日（土）開催です！

東六小の開校は、明治6年（1873）。以来142年にわたって、エドヒガンザクラは子どもたちの学びと元気な姿を見守り続けてきました。花の満開は毎年入学式のタイミングと重なります。普段は学校の外からしか見ることでできないこの桜ですが、「地域にお住いのみなさんはもちろん、より多くの方々にも満喫していただきましょう」という想いから「桜と音楽を愛でる会」は始まりました。当初、設定されたテーマは、お宮町のみなさんが集い、笑顔にあふれ、お互いの顔が見える会。地域みなさんのご協力とご厚意を受け、今年は開催10年の節目を迎えます。



音楽を演奏されるのは、「お宮町」出身者を中心とした方々。プロも、アマチュアも、キャリアやジャンルを超えて一堂に会します。

東六小の子どもたちも合唱や器楽演奏を披露。日頃の練習の成果とともに、「元気で楽しい「お宮町」を、あなたご自身で体感してみてください。」

東日本大震災！その時、「お宮町」では

平成23年（2011）3月11日、東日本大震災が発生。津波被害を逃れた「お宮町」も、街としての機能が失われてしまいました。

東六小は、市の避難所に指定されています。仙台駅に近い立地ということもあり、地震発生からおおよそ1時間で、1800人もの避難者が押し寄せてきました。もちろん、地震や災害への対策は準備されてきました。しかし、想定を大幅に超えた状況の中では、防災マニュアルにはない動き・対応が求められます。渡部力校長（当時）は、子どもたちの安否を気遣いながら、避難所の運営に奔走。それを助けたのが、地域の連合町内会や商店街組合、さらには主婦を中心とした地域住民による連携でした。

夏まつり 5年に一度の神輿渡御



写真は昭和60年頃。
宮町商店街から仙台東照宮に奉納されているおみこしが、お宮町の中心部を練り歩きました。

宮町秋まつり 北六小のよさこい

五穀豊穡に感謝する、秋の恒例行事です。
子どもたちの元気な舞が、お囃子に合わせて躍動します。



公的な地域組織と緩やかにつながっている個人ネットワーク。地域の催事や学校行事などで「顔が見える関係性」を続けてきたからこそ、スムーズな避難所運営と適切な対応※が可能になったのです。

※東六小の震災当時の様子は、「校長室だよりで見ると三・一一の前と後 地域と共に歩んだ学校（渡部力・著）」にてお読みいただけます。詳しくは八ページをご参照ください。

季節感あふれる様々な行事が、 一年を通じて開催されています

四百年の昔から今につながる賑やかなおまつり、時を経て装いも新たに復活した伝統行事、住民同士や他の地区との交流を強め、町の活性化を目的としたイベントなど…。そのどれもが、四季の風情を大切にしたい、季節感あふれる行事になっています。

仙台東照宮はもちろん、「お宮町」のいたるところがその舞台。地域のみなさんの笑顔に彩られる催事の一部を、次ページにてご紹介しています。

新たに「お宮町」にお住まいになる方も、なんとなく参加の機会を持ちにくく思われていた方も、「お宮町デビュー」にはまたとないチャンス！

お友達やお知り合いの方を誘って、ぜひ会場へお運びいただき、心ゆくまで楽しんでください！

「お宮町」の「これから」を 創っていきましょ！

平成23年（2011）から飛躍的に世帯数が増えている※「お宮町」。人口が増え、町自体の規模が大きくなる中、「お宮町」のまちづくりの運営を担っている

方々は、多種多様な意見に耳を傾け、熟慮し、より良い方向に進めるよう日々努力しています。

「新しい意見も言いやすくなりたいし、異なる意見を持つていても参加しやすい。そんな町でありたいと考えています。お宮町は、人と人との摩擦を解決しながら、四百年の歴史を紡いできたのですから…」

地域住民同士が顔見知りであること。相反する意見があつたとしても、よく話し合い、双方が着地点を見いだせること。いざという時には協力し合えること。これらは、まちづくりの基本となる「三本柱」です。

経済状況や社会背景がめまぐるしく変わる現代。それでも、人が日々の暮らしに求める本質は、いつの時代も同じなのでしょう。大規模震災など様々な経験をした「お宮町」に住まうみなさんは、その三本柱を体現しているのです。

「住民あつてのお宮町」

「笑顔があふれるお宮町」

「安心・安全で暮らしやすいお宮町」

様々な方から異口同音に何度も発せられるこれらの言葉は、四百年の長い歴史を通じて熟成を重ね、今に伝えられているように聞こえます。

これからの「お宮町」を創っていきけるのは、ほかならぬ地域住民のみなさんです。一年を通じて開催される多彩な地域イベントを通じて、ぜひ一緒に、楽しみながら、より良いまちづくりを進めていきましょ！

※仙台市制作「地域情報ファイル（平成26年9月版）」による人口推移を参考にしています。

第9回 東六小の桜と音楽を愛でる会 開催

平成27年4月18日（土）

11:00～15:00

会場：仙台市立東六番丁小学校

明治の頃の
校舎と桜



イベント盛りだくさんのお宮町

宮町商店街振興組合の三大イベントは、七夕、秋まつり、月山旬の市です。

昔の七夕では、日中、町みこしが、練り歩いたり地元小・中・高校が宮町通りで演奏していました。さらに夜は、東照宮の境内で夜店もありました。

現在の七夕は、七夕飾りをメインとし、お祭りは、秋まつりに移行。仙台利府線の開通を記念して行ったのが始まりです。今年で19回目を迎えます。内容は、音楽祭・産地直送（山形県西川町）・フリーマー

ケットなど楽しいイベント盛りだくさんです。

山形県西川町とは、“友交”締結（役場と商店街）をしており月山旬の市（産直）を鈴憲味噌醤油店にて年間10回程度開催しています。わらびや原木なめこが大人気です。

宮町商店街振興組合 理事長 佐藤 広行

※次のページにて、主なイベントをご紹介します。
あわせてご覧ください。

お宮町の催事!

北は仙台東照宮から、南は東六番丁小学校に至る「宮町商店街」。およそ 1.6km にわたるメインストリートを中心に「お宮町」は広がっており、一年を通じて様々なイベントが開催されています。ここにご紹介できるのは、残念ながらそのほんの一部。詳しくはページ下に記載してあるホームページをご参照ください



どんと祭

毎年1月14日
主催：仙台東照宮

どんと祭の火入れは、午後3時頃。甘酒や平コン・玉コンの販売は午前10時頃～午後9時頃。さらにお土産に！ということで、宮町せんべいや月山の若水販売もありますよ！



節分祭

毎年2月3日
主催：仙台東照宮

「豆まきを待っている皆さんがホッとするのは？」ということで、宮町商店街の青年部から、毎年甘酒が無料提供されます。地元テレビ局の情報番組でも、しばしば紹介されるお祭りです。



春の例祭

毎年4月第3土・日
主催：仙台東照宮

毎年4月17日の徳川家康の命日に合わせ、4月の第3土日に開催される仙台東照宮春祭は美味しく楽しい屋台の出店も多く、市民に愛されています。奉納されるお神楽や5年に一度の神輿渡御も見所。



東六小の桜と音楽を愛でる会

毎年4月第3土曜日
主催：東六地区連合町内会

樹齢四百年余りのエドヒガンザクラを囲みつつ、音楽にあふれるひと時を楽しめる会。演奏はお宮町出身の音楽家を中心とした様々なグループ。地域の学校の児童生徒による演奏がありますよ！



仙台七夕まつり

毎年8月6日～8日
主催：仙台七夕まつり協賛会

毎年、個人賞の他に団体賞もいただいている、お宮町の七夕飾り。大人も子どもも工夫を凝らした趣向で、街行くみなさんの目を、時には耳まで(?) 楽しませてくれます。仙台ならではの風物詩を、ぜひ満喫してください。



東六夏まつり

毎年8月第4土・日
主催：東六地区連合町内会

校庭にやぐらを組み、子どもお囃子、盆踊りや大抽選会など、楽しいアトラクションと夜店が楽しめます。今も昔も変わらない「夏まつり」を満喫してください！



東六学区民運動会

毎年10月開催
主催：東六地区体育振興会

東六小にて開催。子どもたちと地域のみなさんが総出で楽しむビッグイベント！町内会や子ども会の対抗競技など、盛り上がり必至のプログラムが組まれています。毎年、笑いとお声の絶えない一日になります。



宮町秋まつり

毎年10月第3土曜日
主催：宮町商店街振興組合

宮町商店街全域にて、午前10時～午後3時30分を目安に、にぎにぎしく開催されます。芋煮など秋の味覚や西川町などの産直市、フリーマーケットや音楽祭など、イベント目白押しです！



東六児童館まつり

毎年10月後半の土曜日
主催：東六番丁児童館

東六小敷地内の児童館で開催。高校生と小学生のコラボダンスで始まり、工夫を凝らした楽しいあそびのコーナーがいっぱい！「じゃんけんポキラ」も待ってるよ！



東六コミセンまつり

毎年10月第3または第4の土・日
主催：東六コミュニティセンター

東六コミュニティセンターで開催。地域のみなさんの手作品が、展示されます。子どもたちの作品はもちろん、水彩画や編み物、書道、油絵、生け花、瀬戸物などなど多岐に渡る作品がいっぱい！玄人も唸る出来栄ですよー。



月山旬の市

毎年4月～11月開催
(不定期・年間10回)
主催：宮町商店街振興組合

山形県は西川町とのコラボレーション！鈴憲さんの店頭で季節の旬を堪能できる食材などが、ところせましと並びます。季節によっては「朝」と「夕」の2回開催！お見逃しのないう、お宮町をチェックしてください！



骨董市

毎月第4日曜日
主催：仙台古民具骨董市実行委員会

仙台東照宮の参道に、ずらりと並ぶ骨董のお店。掘り出し物を見つけることはもちろん、お店の方々との会話も魅力のひとつ。のぞいてみるだけでも楽しいですよ。お散歩がてらにでも、いかがでしょう？

お宮町の催事については、以下のホームページをご参照ください。

- お宮町・混む：<http://www.omiyamachi.com/>
- 宮町商店街（英語版）：<http://miyamachi.strikingly.com/>
- 仙台東照宮：<http://sendai-toshogu.or.jp/>
- 038 プレス（日本語版）：<http://038press.jimdo.com/>

QRコードからもアクセスできます



お宮町・混む



宮町商店街
(英語版)



仙台東照宮



038プレス
(日本語版)

東六地区の 防災意識調査 を行いました

9割近くが「食料を備蓄」
住民アンケートで
高い「防災力」裏付け

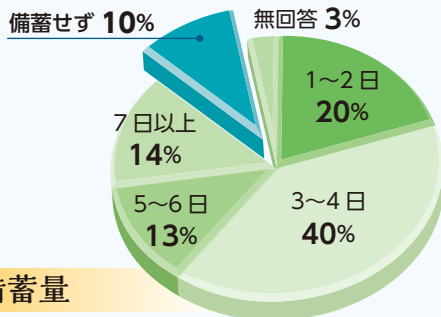
お！宮町地域情報編集局は昨年11月、東六地区で「防災に関するアンケート」を実施し、先の第3回国連防災世界会議in仙台のパブリックフォーラムで結果を発表しました。災害に備え食料を備蓄しているという家庭が87%に上るなど、東六地区が高い「防災力」を備えていることが裏付けられました。

アンケートは東六地区連合町内会に所属する25町内会のうち、比較的住民数の多い高松通、旅籠町、金長、六新、新名懸丁、空堀丁の6町内会を対象にし、住民619人から回答を得ました。東日本大震災のような大災害が発生

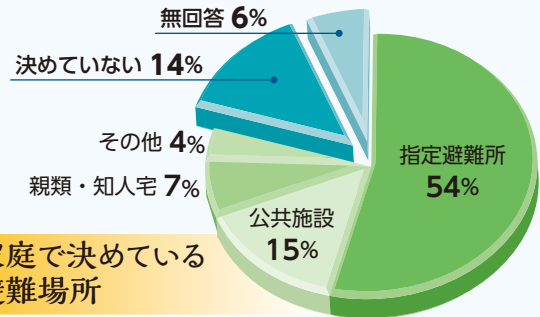
すると、電気や水道、物流が止まり行政機能も低下するため、住民は自力で自らを守らざるを得なくなります。こうした観点から、アンケートでは家庭での食料と飲料水の備蓄について尋ねました。

食料については「3〜4日」の備蓄が40%で最も多く、「1〜2日」が20%、「7日以上」が14%などで、「備蓄していない」も10%いました。飲料水も同じ傾向で、83%が備蓄していると答え、「備蓄していない」は14%でした。備蓄量を決めるに当たっては、59%が「東日本大震災の経験」を参考にしたと回答、先の大震災の教訓が生きていることもうかがえました。

家庭で決めている災害発生時の避難先を尋ねると、「小中学校など近隣の指定避難場所」が54%でトップ。「コミュニティセンターなど地域の公共施設」が15%、「親類や知人宅」が7%と続き、「決めていない」は14%でした。災害後に協力できそうな復旧支援活動では、44%が「近所のお年寄りや障害のある人の安否確認」を挙げ、「壊れた家屋などの後片付け」が25%、「避難所の運営」と「被災者の話し相手」が24%でした。



食料の備蓄量



家庭で決めている避難場所

防災意識の出発点に

アンケートからは、東六地区の高い防災力とともに、飲食料の備蓄がない家庭が一定程度あることも分かりました。これらから見えてきたのは、「備蓄」という自らを守るための行動が、避難所選定など防災意識を高める出発点になっている——でした。

食料を「備蓄していない」と答えた人は10%と少数ですが、その81%が飲料水も「備蓄していない」と回答しています。これらの人々は万一の場合、無防備な状態に置かれることが予想されます。

備蓄しない理由を尋ねると「避難所に行けば得られるから」が27%、「店で買えるから」が17%などでした。しかし、東日本大震災は、災害の規模によってはこうした期待が幻想であることを教えました。

また、食料備蓄量が「7日以上」と答えた人で非常時の避難場所を「決めていない」という人は9%でしたが、食料を「備蓄していない」と答えた人では23%に上りました。さらに、食料を「備蓄していない」という人の40%が災害後の復旧支援に「協力できそうにない」と答えるなど、備蓄への無関心は防災全体への無関心につながっているようでした。

飲食料の備蓄推進は、人々に防災への目を開かせ、地域力を高める手立てになりそうです。

(三岡昭博)

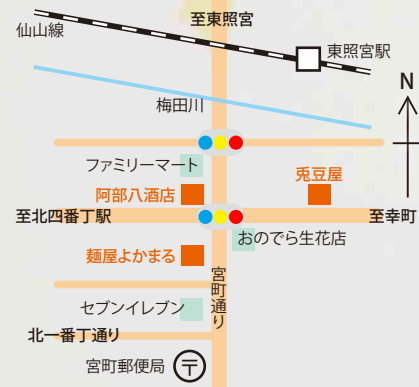
アンケートへのご協力ありがとうございました。結果の分析に当たっては毎日新聞世論調査室の協力を得ました。

詳しい資料は038プレスのホームページからダウンロードできます。

<http://038press.jimdo.com/>

第16回お宮町なるほどツアー 身近な商店街を巡る旅

最近、宮町は個性あるこだわりのお店が増えてきています。今回は北四番丁通りを中心にラーメン店、豆腐製造販売、酒の販売の3店舗を巡りました。どのお店もオンリーワンの価値あり！でした。



我流久留米らーめん

まる
麺屋よか

久留米ラーメンの店よかまるは東日本大震災の直前にオープンし、今年5年目を迎えました。店主の樋口雅雄さんは様々なラーメン店で修業し、最終的にとんこつに行き着いた、と語ります。東北人の好みに合わせたこだわりのスープは、とんこつ特有の臭みのないまろやかなもので、あっさりしながらもコクがあります。特注の麺のゆで方も4種類から選べ、最も堅めの「粉おとし」は小麦の風味が抜群で、常連客の4割が注文するといいます。ラーメンの他にもつまみも充実、夜はビールをお供にメのラーメンが人気のパターンとか。替玉チャレンジもあり、最高記録は23杯。大食漢の方は挑戦してみてくださいいかが？

営 11:30～深夜1:00 休 火曜夜 水曜昼 住 青葉区宮町3-7-42
Tel 022-211-4901



「038 プレスを見た」で
麺類ご注文の方に、
特製ゆず辛味噌が
半熟玉子サービス
4月1日～30日



おっ!旨い豆腐だ!

とまめや
兔豆腐

平成26年8月開店のお豆腐屋さんです。「東京葛飾の老舗豆腐店の本当の豆腐の味を仙台の人に届けたい一心で、修行に励みました。産地や種類により異なる国産大豆の持ち味を最大限引き出すためには、手間を惜みず気合を込めて作っています」と店主の安達さん。豆腐だけでも7、8種類、さらに油揚げやがんも、湯葉など品揃も豊富です。お土産にしても喜ばれるでしょう。老舗直伝の本物の美味しさ、おぼろ豆腐のスイーツのようにまろやかな甘さなど、豆腐の新しい魅力に出会いました。

営 6:00～19:00 休 日曜日 住 青葉区福沢町4-52
Tel 022-209-4325 HP <http://tomameya.com/>



買物の際 038 プレスを
見た!で
油揚げ1枚プレゼント
4月1日～30日

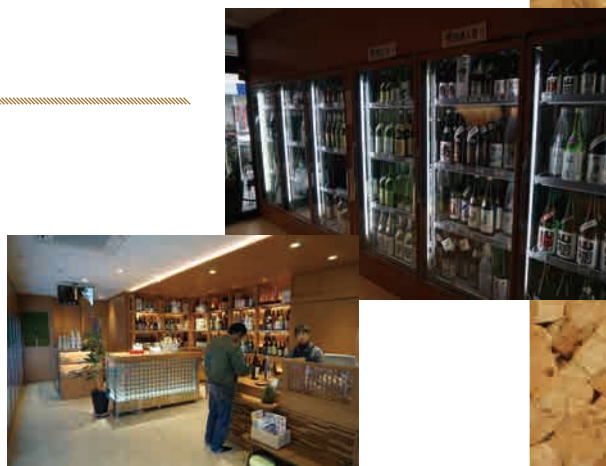


特選優良地酒専門

阿部八酒店

去年7月14日にリニューアルオープンをした阿部八酒店。店内も綺麗になり、お客様が増えたと話してくれたオーナーの穀田さん。取材中も店内は日本酒を求めるお客様で賑わっていました。最近では、伯楽星、宮寒梅、日高見など、地元宮城のお酒がよく出ているそうです。他県産のおすすめの日本酒は、山間（新潟）、若波（福岡県）で、どちらも日本酒が苦手の方も飲みやすいお酒です。これからも、地酒に特化し、お客様に美味しい日本酒を提供できるよう、蔵元との信頼関係を築いていきたいと話してくれました。

営 9:30～19:00 休 日曜・祝日 住 青葉区宮町4-5-35
Tel 022-222-6433



次回のご案内

次回は右の3店を巡ります。参加希望の方は、氏名・連絡先を明記のうえ、メール、またはFAXでお申込みください。

①美容室シローの店 宮町店

②家具の二郷屋

③小田原5丁目 ホームラン食堂

メール info038press@gmail.com
FAX 022-223-7988

日時 平成27年4月25日(土) 15:00～
集合場所 15:00～スーパー八百ふじ 宮町店前集合
参加費 1,000円

038 プレス主催

宮町起業家セッション開催

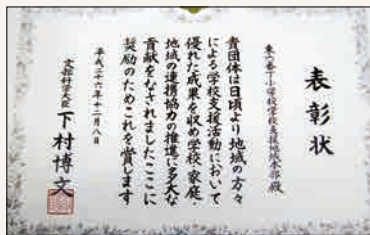
将来自分のお店を持ちたい、と考えている起業家予備軍 20 名が参加し、東六コミュニティセンターにて、「宮町起業家セッション」を開催しました。宮町商店街振興組合の佐藤理事長、038 プレスの千葉編集長より宮町商店街の成り立ちや地域との連携について説明があり、宮町の不動産情報や先輩経営者の経験談を聞きました。その後宮町を散策しながら更に 2 店舗を訪問し、起業までの様々なアドバイスを受け、参加者にとって大変満足度の高いイベントとなりました。参加者からは「宮町のポテンシャルを感じた」「チャンスがあれば宮町で開業してみたい」などの声が寄せられました。



NEWS & TOPICS

地域情報

東六小 学校支援地域本部が 文部科学大臣賞を受賞



昨年 12 月 8 日、文部科学省にて、平成 26 年度 優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰式があり、東六小が文部科学大臣賞を受賞しました。今回の受賞は、東六小が日頃から地域の皆様の教育力に支えられているという証です。

心から感謝を申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。
(東六小学校支援地域本部スーパーバイザー 鹿野恵美子)



洞雲寺の岩谷観音洞

延があるため、多賀城・利府・石巻・五つ森などに伝説が残るが、出生に纏わる伝説はこれ一つである。(つづく)

白川 葎

歴史 コラム 9

宮町邊の八世紀

坂上田村麻呂伝説

仙台市泉区には、曰くありげな「山の寺」という地名が残る(宮町からは北方 1 里強/約 5 キ)。此処は嘗て「蓮葉山円通寺」があった処で、定尊上人(藤原鎌足の長男/藤原不比等は弟)による開山(慶雲元年/704 年)である。当時の地名「佐賀野」から通称「佐賀野寺」と呼ばれたという。現在の「洞雲寺」である。

伝承によると坂上田村麻呂は、この地で生まれた。また田村麻呂の生母は、この地の長者の娘「悪玉姫」であったとされる。父坂上田村麻呂(陸奥鎮守将軍/公卿・武人/727~786)が遠征のためにこの地にやって来て「阿久玉」という美女をみそめ、このとき子を宿したが、出生は父の帰京の後だった。(産屋を佐賀野が原に造。幼名を「千熊丸」といい、この佐賀野寺で学んだという。やがて成人し、京へ上った。後に征夷大將軍になった坂上田村麻呂こそ、その人であるという。田村麻呂伝説は、此処より東方に国府多賀城(北限の朝廷)があるため、多賀城・利府・石巻・五つ森などに伝説が残るが、出生に纏わる伝説はこれ一つである。(つづく)

第 16 回



ようこそ宮町へ

ねえねえ浄圓房さん、お宮町はどんな成り立ちでできた町なの？

はいはい、宮町のはもう、伊達二代領主忠宗公の造営で承応三年(1654 年)に仙台東照宮が建立され、その門前町として割り出された。仙台東照宮から現在の鈴霊味噌の所まで商家が並んだ宮町として発展し、商家の裏には田んぼが造成された。その南側に割り出された侍町が東六番丁通りで六道の辻まで続いた。そして仙台東照宮から繰り出した仙台まつりは、山鉦巡行や神輿が渡り歩き、賑わいは、遠く京の祇園祭に匹敵する規模と華やかさを誇り、現在の仙台青葉まつりの原型となった。



文・取材/千葉富士男
イラスト/がんじー



仙台東照宮と宮町商店街、東六番丁通りと東六小学校！そして樹齢 400 余年のエドヒガンザクラはぜひ一歩、つながっているんだね！



原田んぼ前に「見て」と唄い歴史を感じさせるのう。

350 年も続いている商店街ってすごい！！

◆東六番丁小学校	
4 月 8 日 (水)	始業式／入学式
4 月 18 日 (土)	東六小の桜と音楽を愛でる会
5 月 23 日 (土)	運動会

◆五城中学校	
4 月 9 日 (木)	入学式
6 月 11 日 (木)	市中総体選手激励会
6 月 13 日 (土)～15 日 (月)	市中総体

◆北六番丁小学校	
4 月 8 日 (水)	始業式／入学式
5 月 31 日 (日)	北六学区大運動会 2015

◆常盤木学園高校	
4 月 8 日 (水)	入学式
4 月 28 日 (火)	音楽科演奏会「未来への翼 2015」 (イズミティ 18:30～)
5 月 11 日 (月)～15 日 (金)	授業参観ウィーク
6 月 6 日 (土)～8 日 (月)	高校総体

「地域とともに歩んだ学校」
出版に寄せて

渡部 力

(前仙台市立東六番丁小学校長)

東日本大震災から四年が経過しました。三・一一の爪痕は大きく、今なお復興の兆しが見られない地域や施設などがあります。被災が続いている方々には一日も早く、心身の安らかな生活が訪れることを願うばかりです。

三月十四日に開催された国連防災世界会議では、東日本大震災の経験と教訓が世界に発信され、被害の軽減を目指す防災指針が策定されました。お宮町地域情報編集局が防災シンポジウムで発信したことなど、防災・減災への取組と教訓が人々の日常に反映され、次世代に伝えられていくことを強く願っています。

震災後目にする歌があります。『契りきなかたみに袖をしぼりつつ未の松山波越さじとは』。平安時代の大歌人、清原元輔の作だそうです。「未の松山」は多賀城市にある小高い丘を指し、「波」は八六九年の貞観地震の大津波とされています。永遠の約束を交わす絶対の象徴として、貞観地震の津波被害を免れた場所が登場しているのです。千年の時を超えて語り掛ける言葉の力を感じます。

この度、東六小での校長室

だよりを中心とした文章をまとめ、上梓しました。地域の皆様の温かいご理解・ご支援の中で経営できた東六小の実践記録です。避難所運営に現れた他者への思いやり、日常的にお隣ご近所とのコミュニティを大切にされている生活、地域の有形・無形の文化に着目したまちづくり、子どもの成長を考えてくださる地域行事などは、子どもの健やかな成長に欠くことのできない感性を育む教育環境です。学校経営の立場でも必要とした東六地区のすばらしさを述べています。

他者への思いやりにあふれるこのまちの強みは、不測の事態に対応し、生ずる課題に英知を結集できる成熟したコミュニティになっていると思います。この地域でできた学校経営、防災・減災への取組を記録に残し、伝えられることを誇りに思います。拙著も三・一一の体験と教訓として、人々の目に留まればうれしい限りです。

丸善仙台アエル店にて
平成27年4月1日(水)より販売予定
2100円(税別)



◆ SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて



アエル株式会社 様
仙台市青葉区中央 1 丁目 3-1
TEL: 022-723-8000



積水ハウス(株)仙台支店 様
仙台市青葉区一番町 4 丁目 6-1
仙台第一生命タワービルディング 5F
TEL: 022-722-3640

資産運用と有効利用のベストパートナー

株式会社マイザ 様
仙台市太白区長町 3-4-16
TEL: 022-247-9830

株式会社
アサヒ建築設計事務所 様
仙台市太白区長町 3-4-16
TEL: 022-247-5230



西松建設株式会社
北日本支社 様
仙台市青葉区大町 2-8-33
TEL 022-261-8161

協同組合みやぎ
マルチメディア・マジック様

この情報紙は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様でご協賛をを通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

編集後記

038プレスでは、今年に入り宮町起業家セッションの開催、国連防災会議への参加と新たな活動をはじめ、充実した日常を送るためにも今後もこの仲間達と好奇心を持って活動が続けたいです。

宮町商店街振興組合

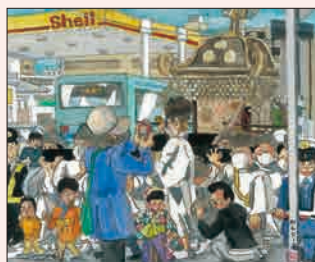
理事長 佐藤 広行

早いもので、年が明けて三ヶ月が経過しました。今年もすでに四分の一が終わったことになりました。四月が終わると三分の一、六月が終わると二分の一と、前半が終わると二年がもうすぐ終わりそうな気になるのは、歳のせいでしょうか？

針生 英一

今号の表紙画

『大神輿・東照宮へ還る』



昨年、初めて担ぎ手として参加しました。肩にずっしり歴史の重みを感じます。40人ほどで一トン近い大みこしを厳かに運びます。

(がんじー)

038 プレス info



ホームページ



ブログ

顧問
今泉清二
アドバイザー
内海睦夫
イラスト
がんじー

編集メンバー
主筆
海老 一朗
編集長
千葉富士男
編集委員
遠藤真吾
加藤久枝
鹿野恵美子
加納実
菊池ゆう子
木村くみ
佐藤 広行
佐藤正則
佐藤 靖
宮川俊彦
白川 律
高橋孝敏
永田良治
針生 英一
三岡昭博
三嶋 伸一
水沼 幸三
和田政宗
(50音順)